

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成 17 年 11 月 8 日	
		作成部署	土木建築部治水総括室	
事業名	坂川通常砂防事業	構想番号	(土・砂) 構 17-1	
		地区名	長岡京市粟生地内	
概算事業費	11億円	事業期間	H8～H24	
事業概要	砂防堰堤 2 基、流路 730 m			
関連する公共事業	なし			
評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
	主要な評価の視点			
地球環境・自然環境	地球温暖化 (CO ₂ 排出量等) 地形・地質 土砂移動 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など	・府レッドデータブックに掲載されているウラジロミドリシジミやゲンジボタルなど、地域の里山を代表する、希少種やその食草・食樹、生態系などがよく保存された地域であり、これら豊かな自然環境の改変や野生動物の移動経路の分断などを極力避ける必要がある。	①地域の環境の急変や自然への負荷を極力抑えるため、施工区間を分割して、段階的な工事を行う。 ②希少動物の食草等の生育地の消失を避けるため、 <u>流路の法線を蛇行させる</u> 。 ③希少植物が確認された場合には、 <u>移植適地を調査した上で移植し、経年の変化をモニタリングする</u> 。 ④ <u>溪流の生態系の連続性を保つため</u> 、堰堤に大暗渠、床固に斜路を設置する。また、横断的な連続性を保つために護岸構造を工夫する。	△
生活環境	水環境・水循環・大気環境・土壌・地盤環境・騒音・振動・廃棄物・リサイクル 化学物質・粉塵・電磁波・電波・日照 など	・工事用道路において、工事車両が通行することにより、騒音・排ガスが増加する可能性があり、極力制限する必要がある。	・騒音、排気ガスを減少させるため、 <u>時間制限を行い、工事車両の台数を減らす</u> 。	△
地域個性・文化環境	景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 など	・施工地周辺には、地域の代表的な文化的景観である光明寺や里山の自然景観などが残されており、これらへの影響に対して十分な配慮を行う必要がある。	・堰堤の表面意匠や護岸、流路の材料・工法の選定に際して、 <u>周辺の文化的、自然的な景観との調和したものとする</u> 。	△
地域の環境像	施工地及びその周辺には、希少種を含む豊かな自然環境が保持され、また、光明寺をはじめ文化的な景観、里山など美しい自然景観も残されている。また、地元ではNPOによる活発な環境保全活動も展開されている地域であり、事業実施に際しては、地域住民やNPOとも連携を取りながら、環境・景観への影響を調査及び配慮しつつ、安心・安全の地域づくりを目指す。			
特記事項	特記事項なし			